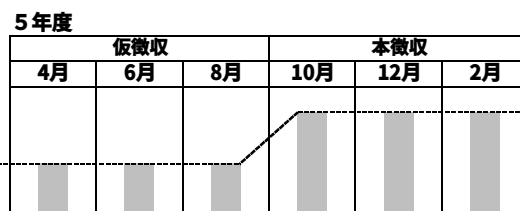
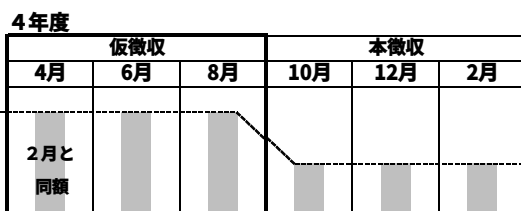
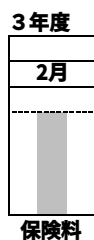


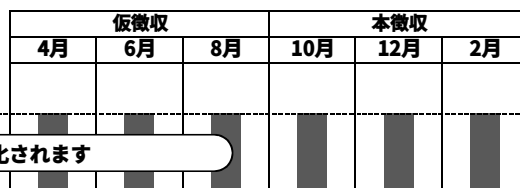
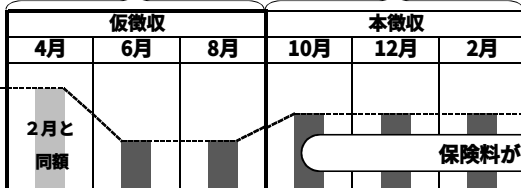
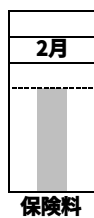
減額により調整する場合

調整前



①の期間の額と②の期間の額がほぼ同額となるように
6月・8月の徴収額を減額します。

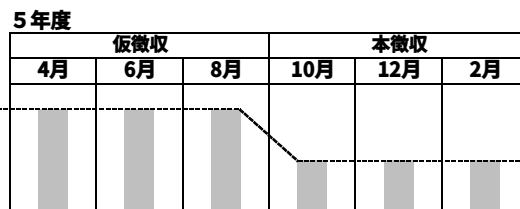
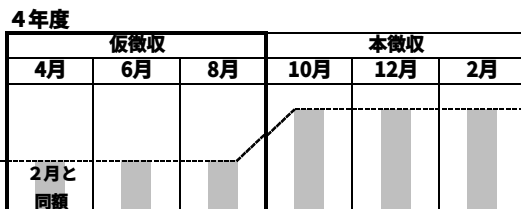
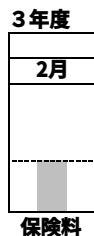
調整後



保険料が平準化されます

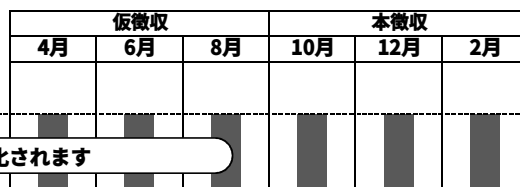
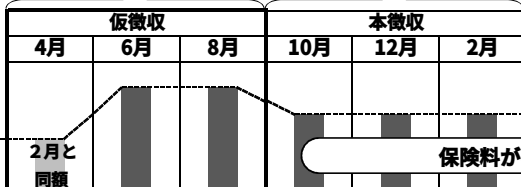
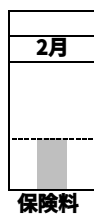
増額により調整する場合

調整前



①の期間の額と②の期間の額がほぼ同額となるように
6月・8月の徴収額を増額します。

調整後



保険料が平準化されます

●平準化とは

仮徴収額は原則として前年度の2月の特別徴収額と同額になりますが、所得などの変動により仮徴収額と本徴収額の差が大きく異なる場合があります。そのまま仮徴収を行うと、特別徴収の仕組み上、毎年増減を繰り返すことになり、前半と後半のどちらかに負担が偏ったままになってしまいます。そこで、1年間を通じて保険料の特別徴収額ができるだけ均等になるように6月と8月の仮徴収額を変更します。

※平準化により、年間の保険料額が変わることはありません。

仮徴収…前年の収入・所得が確定してないため、前年度の2月と同額の保険料を納めていただきます。(4月・6月・8月)